

平成 28 年 6 月 28 日発行

# キャリア・アップ NEWS7月号

〈経営者・管理者が読むニュースレター〉

## イキイキした組織 と 沈滞的な組織 その違いは??

私は、人材育成のお手伝いをさせて頂き 2 3 年が過ぎましたが、数々の企業との出会いの中で、〈活気あるイキイキした組織〉には、何か傾向があるように思います。

それは・・・やはり、経営者やリーダーのリーダーシップが大きく影響していることであり、トップダウンという素晴らしいリーダーシップの中でマネジメントを行っているか否かであります。しかし、そのトップダウン型マネジメントも、行き過ぎたトップダウンであったり、部下の成長度に見合った中でトップダウンでないと、結果的に自らが(経営者・リーダー)、部下の成長の芽を摘んでいる傾向にあることを感じます。ですから、〈トップダウンのマネジメント〉は重要です。

さらに・・・〈行き過ぎたトップダウン〉や〈部下の成長度を無視したトップダウン〉は、組織を硬直化させ、組織の風通しを悪くします。また、部下は、主体性・自発性を発揮せず、いつまでたっても依存的・受身な社員を、経営者・リーダー自らがつくっていることにつながるのです。しかし、自らそうさせてしまっていることに気付いていないのは、その人自身であることが多いように思います。

(須山より)

## 人は、どんな時に無気力になるのか??



### 〈カマスの実験より〉

10 匹のカマスを水槽の中に入れ、エサをしばらく与えないでおきます。カマスを空腹状態にさせるのです。次に、水槽の真ん中に透明なガラス板をいれて仕切り、右側に 10 匹すべてのカマスを集めます。そうして左側に、カマスの大好物である小魚をたくさん入れて泳がせてやります。そうすると、カマスたちは小魚を食べようともうのすごい勢いで突進します。

ところが、間仕切りの透明ガラスがあるため、食べることはできません。何度も何度も激突を繰り返しますが、やがてカマスは疲れ果て、次第に小魚のほうに近寄らなくなってしまいます。

カマスたちは『この水槽でどうやっても小魚は食べられないんだ』ということに悟ったからです。『**無気力**』が**学習された**のです。そのとき、間仕切りのガラス板をそっと取りのぞきます。これで自由にいつでもエサの小魚を食べることができます。ところが、一度無気力に陥ってしまったカマスたちは小魚を食べようとはしません。挑戦することをあきらめたのです。驚くべきことに、たとえ、カマスの口元まで小魚が泳いできた時でさえ、反応を示さなくなってしまったのです。

### 〈解決策はただ一つある!〉

それは、海で獲れたての威勢のいいカマスを 1 匹、ちゃぽんと水槽に入れてあげるのです。そして、餌を落とします。当然、その元気なカマスはその餌にパクッと飛びつきます。それをぼんやり眺めていた無気力なカマスたちは一様に驚きます。「あれ?なんだ食べられるの?」と思い、恐る恐るエサを 1 匹食べてみます。そうすると、「何だ?大丈夫なんだ」と気づき、あとは食欲旺盛なカマスたちに戻っていくのです。

□配信停止 (FAX : \_\_\_\_\_)

□メール配信切り換え (メールアドレス \_\_\_\_\_)

ご記入の上、弊社 FAX 053-411-6859 まで送信をお願い致します。

# リーダーシップ・トレーニング

## 反復演習で実践的に体得する

- ① 相手(部下)の「やる気」と行動を引き出す「コーチング技法」を学び、相手の成長具合や相手のタイプに合わせたリーダーシップが発揮できるようにしていきます。
- ② 課題解決力を向上させる「6つのスキル」を学び、現場で使えるようにしていきます。
- ③ 異論を巻き込みながらも、どのように合意形成力を強化するかを学び、「チームのやる気を引き出す」スキルを身につけていきます。

所要時間 9:30～17:00

第1回 8月4日(木)	部下がみるみる「やる気」になる コーチング技法の習得
第2回 8月22日(月)	課題解決思考の6つのスキル 自己のケースに照らし合わせる
第3回 9月1日(木)	異論も巻き込む合意形成力のスキル 実習トレーニングで現場に活かす
期間中	★個別フォローの実施(参加者一人ひとりに対しての面談実施)

◇開催日程：8月4日(木)・22日(月)・9月1日(木) 3回シリーズ

(※2回目・3回目の日程は、参加者の方の状況に応じて変更させていただく場合があります。日程についてのご相談などございましたら、事前にお問い合わせください。)

◇会場：浜松アリーナ 第2研修室 詳細は後日ご案内いたします。

◇研修代金：お一人様 75,600円 (昼食は各自ご用意ください) 少人数制 10名まで



### ◆御申込書

FAX 053-411-6859 までご返信を 担当 金田へ

御社名:		ご住所	
お申込担当者:		TEL:	
お役職		FAX又はE-mail:	
参加者お名前:	参加者お名前:	参加者お名前:	
<input type="checkbox"/> もう少し詳しく聞きたい	<input type="checkbox"/> 参加希望	<input type="checkbox"/> 参考資料希望	

配信停止 (FAX: )

メール配信切り換え (メールアドレス )

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。